

修 士 論 文 要 旨

開放環境科学専攻	学 籍 番 号 80323718	フリガナ 氏 名	イワタ アズサ 岩田 梓
(論文題目)			
対訳コーパスを用いた日本語文への意味役割付与に関する研究			
(内容の要旨)			
<p>近年、計算機の発達により大容量の情報を蓄え、処理することが可能になり、自然言語処理の分野でも、コーパスと呼ばれる大規模な文書データを利用した研究が盛んに行われるようになった。意味解析ができるようになると、文書要約や機械翻訳の精度向上、検索文の意味を考慮した検索エンジンなどの応用が期待できる。コーパスを利用した意味解析の研究の1つに、Fillmoreを中心に行われている FrameNet という英語に関する語彙解析プロジェクトがある。このプロジェクトでは研究の成果として、意味役割の付いたコーパスが作られ、一般に公開されており、この意味役割付きのコーパスを用いた応用研究が数多く行われている。スペイン語やドイツ語など英語以外の言語に関しても FrameNet と同様の研究が行われており、日本語についても日本語フレームネットというプロジェクトが立ち上がっている。しかし、日本語フレームネットは研究段階であり、意味役割付きのコーパスが公開されるには至っていない。</p> <p>本研究では、日英対訳コーパスを利用して、意味役割が付与された英文から、それに対応する日本語文に意味役割を付与する方法を提案する。現段階では、トレーニングデータとなるものが無いため、日本語文に直接意味役割を付与することはできない。しかし、英語文であれば、計算機を用いて自動的に意味役割を付与することができる。そこで、対訳文を用いて英語文と日本語文の対応関係をとることによって、英文に付与した意味役割を日本語文に割り付ける。</p> <p>本研究の手法として、まず、日本語文を文節単位に分ける。その後、英語文の意味役割を持った句に対して、日本語文の各文節がその英語句に含まれるかどうかを Support Vector Machines (SVM) によって判定する。対応が取れた日本語文節に英語句の意味役割を付与する。SVM で使用する特徴として、日本語文節の単語が日英単語辞書で英語文の単語と対応付けられるかどうか、英語句内の自立語、品詞の出現割合など8種類の特徴を使用した。読売新聞と The Daily Yomiuri の対訳コーパスを用いた実験では、文節単位では Precision93%、Recall74% の精度で意味役割を付与することができた。</p>			